



根堀台だより

平成29年6月29日

第 32 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

地区総体を終えて 次につなげて生かす

	6月24日(土)	6月25日(日)
野 球	1回戦 対 仁賀保 1 : 3	
バレーボール 第3位	予選1 対 本荘東 2 : 0 予選2 対 金 浦 2 : 0	準決勝 対 鳥海西目 0 : 2 敗復2 対 本荘南 2 : 0 敗復3 対 本荘北 0 : 2
サッカー	1回戦 対 大内北 1 : 1 2回戦 対 本荘東 1 : 1 (延長0 : 0) (PK 1 : 3)	敗復1 対 象 潟 0 : 1 (延長0 : 1)
ソフトボール 第3位県大会出場	1回戦 対 西 目 1 : 2	敗復1 対 矢 島 7 : 0 (5回コールド) 敗復2 対 金 浦 9 : 3
ソフトテニス	予選リーグ 対 象 潟 1 : 2 対 本荘東 0 : 3 個人戦 1回戦	個人戦 2・3回戦 敗退
剣 道	男子個人・女子個人 初戦敗退	



ソフトボール部から賞状を

2日間各試合場での激戦を終え、6月28日(水)の午後、「総体報告会」で各部キャプテンから報告がありました。

今回はソフトボール部とバレーボール部が第3位に入賞し、ソフトボール部が県大会出場という結果となりました。惜しくも入賞は逃したものの、どの部活も力の限り戦い、ベストの試合を行ってきたようです。各部のキャプテンからは「負けて悔しかったが、自分たちの成長を感じ取ることができた試合だった。」「2年生は自分たちの課題を自覚して練習に取り組んでほしい。」「自分たちのプレイができたので、これからも由利中の伝統をし

っかりと受け継いでいってほしい。」「試合中に声をしっかりと出すことができた。」「スピードと足の運び方が課題だと分かった。」など、次につながる「報告」がありました。

7月の全県総体に出場するソフトボール部や陸上の個人は、これからまだ練習を重ねていきます。しかし、この総体で新体制へと移行する部活動では、2年生を新リーダーとして、この「報告会」で語った3年生の先輩の思いをしっかりと受け止めて、次につなげ、生かしていきたいものです。

総体報告会で話したこと

地区総体が終わりました。まず最初に、応援団の皆さん、吹奏楽部の皆さん、御礼を言います。本当にありがとうございました。この総体に向けて、自分たちの部活動を次に回して、仲間のために大切な時間を使って応援してくれました。大きな力をもらうことができました。

選手の皆さん、地区総体本当にご苦労様でした。ソフトボール部とバレーボール部入賞おめでとう。ソフト部は県体でもしっかり頑張ってください。今朝、私は皆さんが根掘台の坂を上ってくる姿を見て、「夢あきらめない」で最後まで力を尽くしたという思いがしっかりと伝わってきました。

私はサッカー大会の開会式のあいさつで「目標」と「目的」についてお話をしました。紹介します。

『誰にでも夢があります。皆さんが目指す夢は何でしょうか。おそらくほとんどの人が「夢は勝利」「夢は優勝」と答えることだと思います。勝ちたいから苦しい練習に耐えてきたわけです。でも、勝つことは「目標」でしかありません。皆さんが、特に3年生が、この3年間、沢山の汗や悔し涙を流してまで部活動に取り組んできたのは何故でしょう。部活動には「目的」があります。部活動の目的は「人間としての成長」です。

単に試合に勝つことだけでは「目標を達成した」だけで、「目的」にたどり着いてはいないのです。勝負に勝つだけでは、本当の意味での「勝ち」にはまだたどり着くことができないのです。試合に臨む姿勢や態度、仲間を応援する姿、審判や対戦相手への挨拶など、そのひとつひとつが大切なのです。総体はどのチームが果たして「目的」にたどり着いたのか問われる大会なのです。』

さて、この総体で本校は残念ながら「優勝」という大きな「目標」を達成することはできませんでした。私は大会期間中、サッカーとソフトボールの試合しか見ることはできませんでしたが、由利中生はしっかり「目的」にたどり着いたと、今、確信をもって言うことができます。

運動部や文化部は、それぞれ団体でするもの、個人でするものの二つに分かれますが、部活動は「集団」で行います。私は「部活動は団体競技」だと思います。「集団」として「目標達成」に向かうためには、集団としてひとつにまとまらなければなりません。そのためには、個人の思いや我が儘を通すことはできません。自分以外の誰かのために精一杯努力することが求められるのです。

サッカーの試合を例に挙げると、自分が今蹴ったボールは誰かが自分に繋いでくれたものです。自分のプレイは他の人のプレイによって支えられていたことを忘れてはいけません。試合中、常に校歌や応援歌を歌う大きな声が響き、それが選手の気持ちを鼓舞してくれていました。ベンチに入らなかった四人のあの素晴らしい応援の声に込められた「思い」を、選手は絶対に忘れてはいけません。

延長戦が二試合もありました。本当に苦しかったと思います。でも、試合終了のホイッスルが鳴る最後の瞬間まで、チームが絶対に「夢あきらめない」「心ひとつに」なって戦った姿は、「目的」にたどり着いた姿でした。私は本当に胸が熱くなりました。涙が出ました。サッカーだけでなく、きっと他の部活動でも同じ姿が見られたことだと思います。

そして、「今年も3年生が1・2年生に何かを残してくれた、由利中の伝統はまた新たに引き継がれていくのだ」と感じました。みんな本当によく頑張りました。全員、胸を張っていいのです。

吹奏楽部の皆さん、いよいよ来月は勝負となります。そして、美術部の皆さん。今まで応援してくれた全ての部活が、今度は皆さんを応援しています。しっかりと力を尽くして下さい。

由利中学校は「夢あきらめない」学校です。

でも、忘れないで下さい。皆さんが「なりたい自分」を目指し、「夢あきらめない」で前へ進んでいけるのは自分以外の沢山の皆さんの支えがあってこそなのです。

最後に皆さんに次の言葉をおくります。

今の自分があるのは 共に笑い 共に泣き 一緒にいてくれた 仲間へ感謝

心だけでなく 時間も お金も全てを投げ出して支えてくれた 家族へ感謝

教え 鍛え 励まし 気付かせてくれた 指導者に感謝

好試合 好勝負は 好敵手あればこそ 自分を強くしてくれた 対戦相手に感謝

期待を寄せ 応援してくれた 地域の方々に感謝

学びの場を提供してくれた 大会関係者に感謝

様々な感謝と感動を味わわせてくれた 部活動との出会いに感謝

そして 応援され 3年間できたことに感謝

皆さん、感謝の心をもって次の夢に向かって進んで行きましょう。